

 議会だより

3月会議号

2020.5.1

No.201

わくわく

あんだもございん
(ゲストハウス「あんだあも」にて)
2ページに関連記事あり

再生と未来の創造のために…〈R2年度予算〉	2
議案審議あれこれ……………〈3月会議〉	6
町政を問う7人の提言……………〈一般質問〉	7
議員が徹底審査……………〈予算審査特別委員会〉	15
輝くみなさんの声……………〈キラキラVoice〉	20

一般会計

70億9431万円

歳入

町税 14億9853万円

地方交付税 28億6939万円

財政調整基金取り崩し 1億5399万円



3月会議

令和2年度 注目事業



応援をよろしくお願いします

ふるさと納税インターネットサイトを活用して、受付や返礼品発送業務、収納代行事務委託を行う。

ふるさと納税 事業

1215万円

3月会議は、3月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。
本会議では、人事案件1件、条例改正などの議案7件、議員発議1件、令和元年度補正予算7件、令和2年度予算9件、令和2年度補正予算1件の審議を行い、全て原案どおり可決しました。



地域おこし協力隊員の事業として、「あんだあも」の運営のお手伝いをします

活力ある「地域おこし協力隊」が、涌谷町の活性化及び課題の解決を図る。

地域おこし協力隊 事業

2099万円

一般質問では7人の議員が16項目の質問を行い、財政状況や災害対策、観光振興などへの考えをいただきました。
令和2年度予算の審議にあたっては、予算審査特別委員会を設置し、各事業の今後の在り方や、予算の適切な執行について議論が交わされました。

※議会だよりに掲載している事業費については、万円未満を切り捨てて掲載しています。

令和2年度
予算

町の再生と 未来の町創造のために

令和2年度 施政方針

一般会計の主な事業

子どもの成長支える

まちづくり

放課後児童健全育成事業

(福祉課子育て支援室)

4281万円(継続)

放課後に児童が安心して生活できる居場所を確保し、遊びや生活指導をとおして児童の健全な育成を図る。

令和2年度から涌谷第一

小学校敷地内に「わくわくスマイル児童クラブ」を開設した。運営業務を委託し、民間の手法を取り入れ、より専門的で安定した運営を行う。

健康長寿に向けた

まちづくり

予防接種事業(健康課)

3724万円(継続)

ワクチンで予防できる感染症の発症や重症化を抑えるため各種予防接種を実施する。また、町独自で「おたふくかぜ予防接種」、「任意インフルエンザ予防接種」などの助成事業を継続して実施する。

交流が豊かさ育む

まちづくり

地域ブランド米

創出支援事業(農林振興課)

144万円(継続)

機能的食品向けに改良された品種「金のいぶき」の販売促進をとおし、涌谷ブランドの定着を図る。

安全で快適な環境の

まちづくり

道路新設改良事業(建設課)

1億5120万円(継続)

交付金事業を活用し道路施設の点検を行うとともに、舗装の打替えなどを実施する。

協働による自立した

まちづくり

自治会活動支援事業

(まちづくり推進課)

176万円(継続)

自治会が行う活動及び新設自治会への補助を目的に支援を行う。

特別会計・企業会計の 主な事業

国民健康保険事業

勘定特別会計

特定健康診査事業(健康課)

2619万円(継続)

特定健診受診率向上を目標し、受健者に対してのインセンティブ事業を実施する。また、糖尿病性腎症等重症化疾患を防ぐため、生活習慣病の早期改善や治療への働きかけを行う。

水道事業会計

老朽管等更新事業

(上下水道課)

5593万円(継続)

水道の安定的な供給のため、老朽管及び設備などの更新を行う。

管更新

(岸ヶ森西地内、岸ヶ森東地内、新桑畑地内など)

舗装復旧

(桜町裏地内、桑畑地内)

第2配水池送水ポンプ更新 1基

第1配水池屋根防水工事

町民 医療福祉センター 令和2年度重点施策

1 第2次わくや健康

ステップ21計画の推進

2 母子保健の推進

3 障がい者地域生活支援拠点事業の推進

4 包括的支援体制の構築

5 地域支援事業の推進

6 高齢者の保健事業と介護

7 子育て支援事業の推進

8 病院の経営健全化と職員

9 在宅復帰・在宅療養

10 利用者の生活に寄り添う、

丁寧で温かいケアを提供



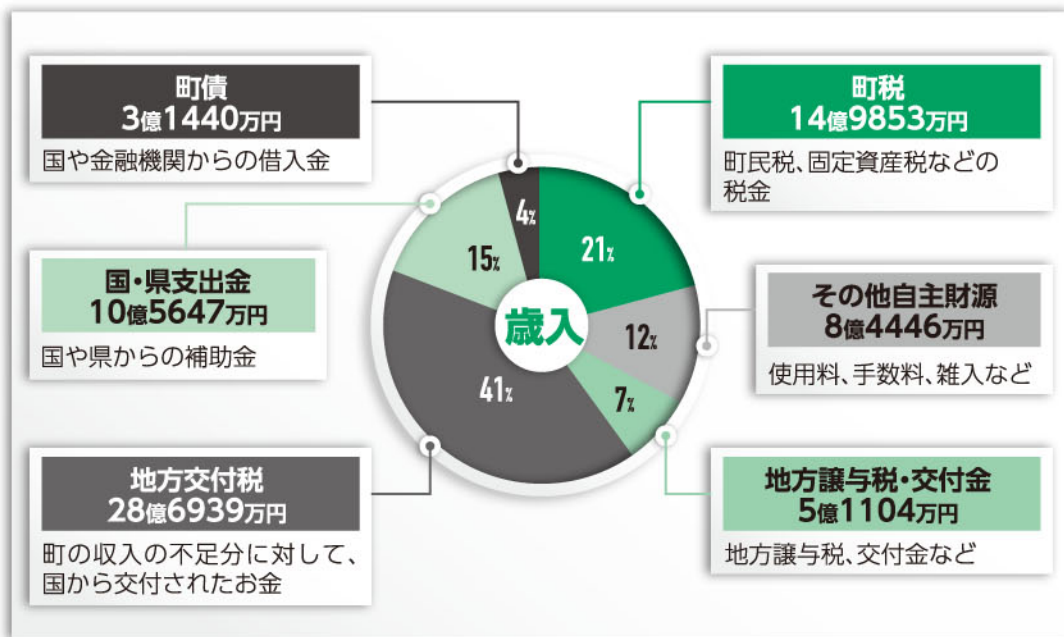
脱却に全力投球

令和
2年度
予算

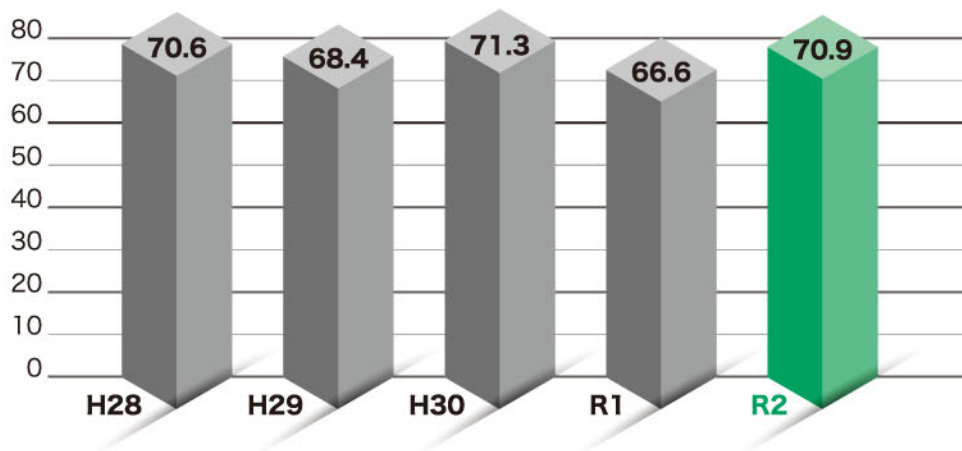
歳入

令和2年度予算

総額で70億9431万円となり、前年度当初予算より4億2971万円多くなっています。
自主財源割合は33.0%と、前年度より2.7%増加しています。



一般会計当初予算の推移 (単位: 億円)



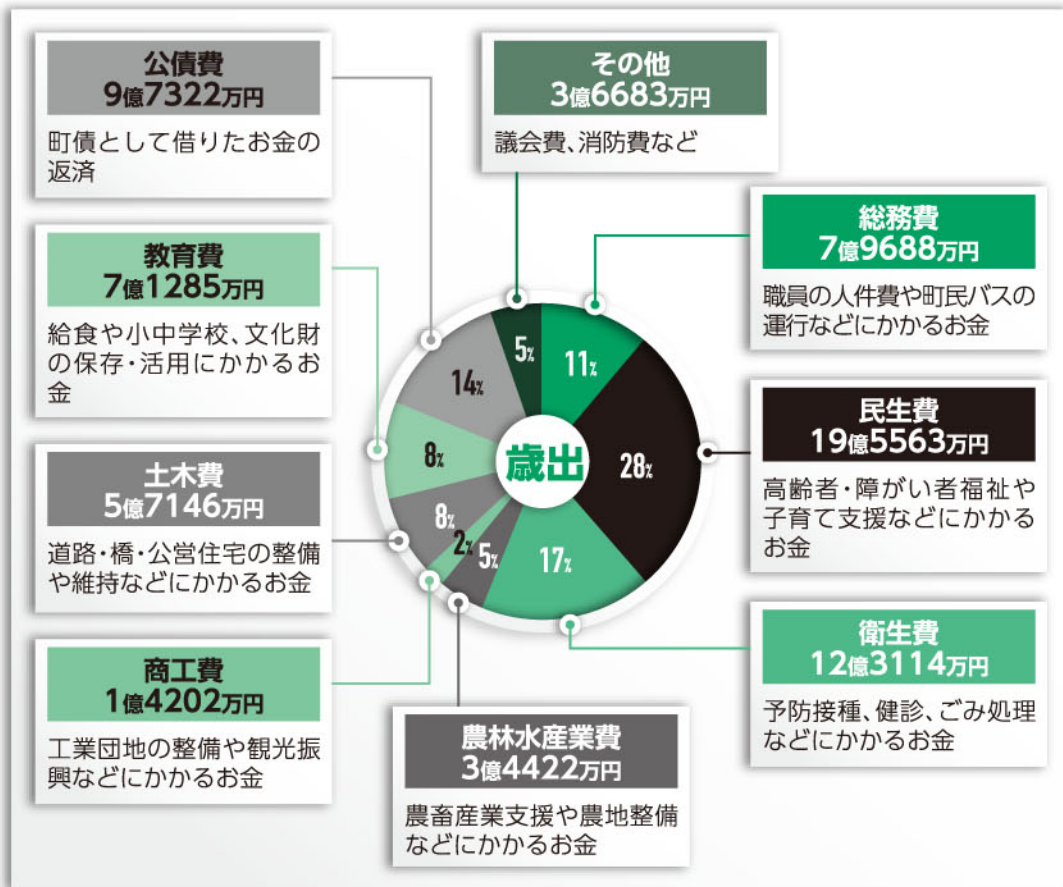
※財政調整基金とは、会計年度間における財源の不均衡を調整し、健全な財政運営を行うための積立金です。
 ※構成比については、端数処理の関係上、数字が合わないことがあります。
 ※万円未満切り捨て。

財政非常事態からのいち早い

令和2年度予算

歳出

令和2年度は、総務費、民生費、商工費、土木費、衛生費において、前年度比で減。衛生費は大崎地域広域行政事務組合負担金や、病院事業会計への負担金により増。
財政調整基金の取崩額は1億5399万円となりました。



特別・企業会計予算

	令和2年度	令和元年度	増減額
国民健康保険特別会計	19億5325万円	20億2093万円	▲6768万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億7286万円	1億5744万円	1542万円
介護保険特別会計	18億2994万円	18億3777万円	▲783万円
水道事業会計(支出)	4億836万円	4億2039万円	▲1203万円
下水道事業会計(支出)	4億8439万円	5億43万円	▲1604万円
病院事業会計(支出)	21億3193万円	20億8637万円	4556万円
老人保健施設事業会計(支出)	5億3248万円	5億2874万円	374万円
訪問介護ステーション事業会計(支出)	6263万円	5558万円	705万円

元年度補正予算審議

主な質疑

有識者会議の必要性は

問 国保病院の経営も含めて諮問できる「健康と福祉の丘検討委員会」があるのに、有識者会議は必要なのか。

答 国保病院の経営改革のため、幅広い知識を持った方に専門的な意見を求めることが必要と判断した。

問 有識者会議の予算は、病院会計に計上するべきではないか。国保病院は公営企業法の全部適用が採用され、センター長が全権を握っているのに、町長の介入はできないと思うが。

答 町全体の財政運営の中で病院をしっかりと捉え、在り方を考えるために、町長部に予算を置いた。
また、有識者会議の結果は、国保病院を拘束するものではない。今後の病院運

営について幅広く議論され、その結果も公にしていく。

バス路線に町民の意見を

問 バス路線などは、地域公共交通会議を開催し、広く町民の意見や要望を聴いて決定するべきではないのか。

答 昨年からの継続事業のため、バス路線の見直しを行わなかった。路線の追加などの大きな要望はなかったが、状況に大きな変化があれば、次回の見直しの中で検討する。



指定管理料の返済は

問 健康文化複合温泉施設指定管理料の増額の理由は何か。

答 また、今年度に返済すべき長期借入金と、昨年9月時点での2700万円の未払金の状況はどうなっているのか。町として監督を強化すべきではないか。

答 当初予算では、町の財政状況を踏まえ、指定管理料を減額していたが、事業継続が困難であるとのことで、協定書どおりの金額を計上した。

今年度分として、1000万円の返済があった。2700万円の未払金については、毎年540万円ずつ、最終年度で1080万円支払うという内容で契約をしている。今年度の残りの440万円も含め、契約どおりに支払うよう求めていく。

給食センター
勤務者の収入は

問 新型コロナウイルス感染症の影響で給食がストップし、賄い材料費が200万円減額になっている。給食センターで働く方々の収入面が心配されるが。

答 給食がストップしても、年間契約により賃金は支払う。現在はセンター内清掃など、再開に向けた準備をしていたらいい。

人事案件に同意

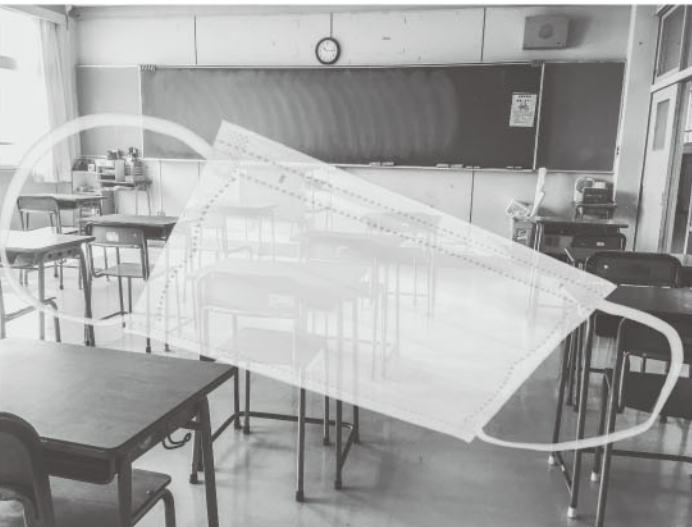
人権擁護委員

高橋勝一氏

議員発議

涌谷町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

財政再建計画の経費の見直しの項目の内、特別人件費の削減の一環として、議会として引き続き議員報酬の5%削減を行い財政改革を進め、行財政の健全化に努める。
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)



ズバリ

3月会議では、3月5日、6日に一般質問が行われ、7人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページURL

(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)

一般質問動画配信ページ QRコード



町政をただす

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問ひ、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

佐々木 敏雄 議員(8ページ)

- ① 財政再建計画(収入の確保)について
- ② 災害対策のための都市計画推進の考えについて
- ③ 無夷山麓峯寺開山1250年祭の観光バスの通行の考えについて

久 勉 議員(9ページ)

- ① 自治体戦略2040構想研究会第1次、第2次報告について
- ② 小中学校のクラスにグループ(4~5人)ごとにタブレットの導入を年次計画で整備すべきと考えるがどうか
- ③ 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を活用した政策への町の本気度はどのようなものか

伊藤 雅一 議員(10ページ)

- ① 東北財務局の財政調査結果に関して問う

稲葉 定 議員(11ページ)

- ① 放射能汚染稲わらの焼却は妥当か
- ② 子供の貧困対策計画の策定は進んでいるか

黒澤 朗 議員(12ページ)

- ① 町内各種団体に対する町からの補助金が減額されていることについて
- ② 財政非常事態宣言に対する所感と、町長が考える町民の価値について
- ③ 観光振興と物産振興の観点から天平ろまん館を拠点として活用することについて

杉浦 謙一 議員(13ページ)

- ① 災害に強いまちづくりについての考えは
- ② 公害等の安全対策の考えは

涌澤 義和 議員(14ページ)

- ① 財政再建計画の現時点での実施状況について
- ② 台風19号により被害を受けた町内の家屋・農地等の復旧の進捗状況は



これも質問しました

問 箕峰寺開山1250年祭に向け、道路改良の考えは

答 箕岳山をスムーズに通行できるような環境を整えたい

問 建築費用などの基準を定め、町民の協力で申告制にするのはどうか。

町長 他の自治体などを調査し、把握方法を調査し、把握したい。

問 固定資産税上の「公衆用道路」は「道路法」の「一般交通の用に供する道路」とし、現況が個人の通路や門口は、宅地あるいは宅地並み課税にすべきでは。

町長 2人以上が共有する道路は実地調査を行い「公衆用道路」と認定し、非課税としている。

問 町で決められる地方税である。2人以上でも個人の通路は、宅地あるいは宅地並み課税にすべきでは。

町長 町で基準を作って、統一的な考えで行っていききたい。

問 家屋のリフォームをした場合、再評価をし課税すべきでは。

町長 家屋の改築は建築確認申請がないことから、事実把握が難しい。県内の他市町村でも調査されていない。

問 災害対策に都市計画税導入の考えは

答 慎重な検討が必要

問 総合計画の安全で快適な環境のまちづくりの中で、「防災強化と潤いを兼ねた公園の確保」の項目がある。

町長 早く災害対策、特に水害対策を中心とした計画を立て、今後のまちづくりの指針を示すべきでは。

町長 災害時には地域防災計画で行動することとしている。

問 また、各自主防災組織で防災活動災害活動が実施できる。

問 財政非常事態宣言が発令中であり「都市計画マスタープラン」が出来上がっても、実行性は期待できない。

町長 事業実施には、都市計画区域の皆さんに「都市計画税」の協力をいただき、計画実行の裏付けとする考えは。



町長 各種計画の見直しが必要であり、使用道も決められていることから慎重な検討が必要である。

問 個人の道路やリフォームの課税をすべき

答 基準を決め課税に向けて検討したい

久
勉
議員



問 自治体戦略2040構想研究会の報告の捉え方とまちづくりの考えは

答 町民の方々、議会と相談しながら進める

問 自治体戦略2040構想研究会の1次、2次の報告をどう捉え、今後のまちづくりをどうすべきと考えているか。

町長 人口減少の中で新たな自治体運営が望まれる。制度設計や行政サービスの在り方について、町民の方々、議会と相談しながら進めていく。

問 2040年の涌谷町・美里町では40%人口が減少する。従来の職員数の半分にすべきとか、AIやRPA(※1)の活用、他の自治体と共同で効率の良い運営が望まれる。他市町に積極的な働きかけを検討すべきでは。

町長 水道など共有できるものは、他市町と協議しながら考えていく。



問 小中学校にタブレットを導入せよ

答 人材育成の点からもしっかり対応していきたい

問 小中学校へグループ(4~5人)ごとに、タブレットの導入を年次計画で整備すべきでは。

教育長 文部科学省でGIGAスクール(※2)実現に向けた校内通信ネットワーク整備と、小中学校1人1台の端末の整備が補正予算で計上された。現在、費用の見積もりを行っているが高額となることから、町長部局と相談する予定である。人材育成の点からも、しっかり対応していきたい。

※1:RPAとは、ロボテックプロセスオートメーションの略であり、従来は人の手で行っていた定型業務を、ロボットに代わりに自動処理してもらう仕組みのこと。

※2:GIGAスクール構想とは、全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に、1人1台の学習者用PCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたもの。

これも質問しました

問 日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を活用した政策への町の本気度は

答 深く考えていかなければならないと自覚している

一般質問

伊藤 雅一
議員



問 東北財務局の財政調査結果への町の理解と対応は

答 運営改善に努めていく

問 東北財務局から出された調査結果によると、町が行っている財政再建5カ年計画を進めても、資金繰りの苦しい状態が続く「要注意」という結果である。町の理解と対応について問う。

町長 資金繰りについては行政経常収支率が6.2%、基準の10%に対して低く、積立金など月収倍率についても2.4カ月と基準の3カ月より約2億4千万円少ないことから、「留意すべき状況」となっている。

町長

平成30年度決算では「8500万円の利益が出ているが、資金繰りは悪く注意が必要だ」との指摘がある。支出面では「町の国保病院事業を支える繰出金の割合が、類似団体の4倍程度高い水準で、町の財政を圧迫する要因となっている」などの指摘もある。これらに対する町としての理解と対応について問う。

問

令和2年度は基準内繰出としていたが、病院の中期経営計画見込みは、収支改善まで至らず借入などで調達し、運営している状況である。

町長

病院事業繰出金については、令和

令和2年度についても、財政再建計画計上額2億2600万4千円に、貸付償還金などの運営上必要とする1億5399万6千円を加え、当初予算に計上している。なお、病院の管理運営については、有識者会議の皆さまの意見をいただきながら、病院管理者と連携し、運営改善に努めていく。



運営改善に努め、よりよい国保病院にしていきます



問 汚染稲わらは隔離保管せよ

答 焼却を最適な選択として 早急に処理する

問 放射能を放出する汚染稲わらの焼却の計画があるが、低レベル放射線を過小評価してはいないか。測定方法もモニタリングポストのデータ中心であり、微量な放射線も蓄積して安心できないが。

町長 他所でも8千ベクレル以下の汚染廃棄物の処理実績があり、基準内の濃度であった。焼却という方法を最適な選択として、早急に処理したい。

問 安全基準内というところだが、バグフィルター捕集率の説明にも疑問がある。メーカーの公開データは95%となっている。子どもに影響が出やすいが、30年後50年後には懸念がないのか。また、農家負担の軽減のためなら「ゼロリスク」の隔離保管をすべき。私なら燃やさないが。

町長 8千ベクレル以下の農林業系汚染廃棄物については、既に県内外で多くの処理実績があり、いずれも基準を超過した事例

はない。1次保管を強いられる保管農家の負担軽減や保管場所のある地域の安全・安心のためにも、通常の廃棄物と同等の処理方法で1日も早く処理していく必要がある。



問 子どもの貧困対策へ十分な手立てを

「安心子育て支援プラン」で柔軟かつ切れ目のない支援をする

問

子どもの7人に1人が貧困だと言われる中、国の貧困対策に関する大綱が出たが、涌谷町の現状はどうか。また支援策は十分か。

町長 さまざまな情報から現状把握をしてきたが、令和2年度に全国調査があり、より詳細な分析ができる。涌谷町では以前から貧困対策に取り組んでおり、「第2期涌谷町・安心子育て支援プラン」を策定し、家庭の経済状況によらない子育てを推進していく。

問

貧困は子どもの自己責任ではない。行政があらゆる手立てを使いセーフティーネットからこぼれないように望む。

町長 子どもの貧困を早期発見して、柔軟かつ、切れ目のない支援につなげる。



黒澤 朗
議員



問

補助金額決定の
新たな方式を確立せよ

答

運営補助から事業補助に
転換していききたい

問

令和2年度予算では、各種団体に対する補助金が大幅に減額されている。今後の補助金額決定を明確にするための、新たな方式を確立するべきと考えるがどうか。

町長

令和2年度の補助金総額は前年度比約6700万円の減額となった。補助金減額対象団体は組織力や運営基盤が強固になっているため、自立的な組織運営に努めていただきたい。補助金は来年度以降も削減せざるを得ないと思われる。
補助金の在り方についても、運営補助から事業補助に転換していききたい。

問

天平ろまん館の管理運営を
民間委託してはどうか

答

他社との管理契約は
すぐにはできない

問

日本遺産を活用して
観光と物産振興を図るため、天平ろまん館をそれらの活動拠点と位置付け、民間の新たな組織に管理運営を委託してはどうか。

町長

日本遺産指定を活用するには、中核施設である天平ろまん館を活用し、観光及び物産振興の拠点とする考えはある。しかし、天平ろまん館は地域振興公社と指定管理の契



これも
質問しました

問

財政非常事態宣言に対する
所感と町民の価値は

答

2、3年度には安定した町にしたい
そこに町民の皆さまも導きたい

約中であり、今すぐに他者との管理契約はできないと考える。
一方、新たな民間団体などができ、そこが真剣に観光物産振興のために活動する拠点として天平ろまん館の活用を考えるのであれば、検討に値すると考える。



問 災害に強いまちづくりについての考えは

答 地域防災計画に基づき、対応していきたい



台風19号直後の城山公園前

問 当町でも台風19号での土砂災害があった。土砂災害を防止するための対策は。

町長

地域防災計画では、土砂災害対策の見直しや土砂災害警戒区域の避難訓練を行うなどして対応していきたい。

問

勾配の少ない平らな土地では、災害時に

水害が発生することが多くなる。冠水を防止するためには、分水することが重要と考えるがどうか。

町長

平地では排水路に水が停滞し、雨水が流末河川に到達する時間が長くなる。排水路の断面を大きくしたり、複数の排水路に分岐するなどの整備方法が考えられる。

問

公害に対する考えは

答

速やかに対応していく

問

成沢地区での太陽光発電の建設によって、土砂災害などが発生する可能性があるが考えは。

町長

住民の健康や快適な生活環境維持のためには、住民の合意は大事であると考えます。

町長

建設後の対応について、県や町との協定に基づき、宮城県との連携や地元住民の声を聴きながら対応していく。

問

上郡地区においては、地域企業との間に、悪臭、羽毛飛散などの問題が発生している。これらの問題について、町長の考えは。

町長

悪臭に関する相談がある場合には、大崎保健所と連携し、速やかに対応していく。

問

何事も住民の合意が大事であるが、町の考えは。

涌澤 義和 議員



問 財政再建計画の現時点での実施状況は

答 達成率は83%で、計画以上の縮減を行う



問 初年度分、現時点での目標達成は見込めるのか。

町長 全体としては、約12億5200万円程の効果額であり、達成率は、83%である。収入の確保については、達成率157.2%である。経費の見直しについては、達成率64.5%にとどまっている。特別会計については、達成率103%であり、計画どおりとなっている。

問 令和2年度は、実施計画のとおりで目指すのか。

町長 令和2年度については、計画以上の事業の縮減を行うなど、調整を行い、今回の予算編成となった。
また、施政方針で申し上げたとおり、病院経営について、庁外の有識者を中心とした有識者会議を設置予定としている。

問 台風19号の被害復旧の進捗状況は

答 応急復旧を含め、規模の大きいものは工事発注している

問 災害発生時に特別相談窓口など(夜間・休日)の開設が必要かと思われるが町長の考えは。

町長 災害時においては、総務課防災交通班が担当となり災害対策本部の運営に当たっている。また、本部の中では各部門ごとに分かれ、それぞれの役割で活動することとなっている。

問 農地や水路などの土砂搬出はどの程度進んでいるのか。今期の農作業に影響はないのか。

町長 土地改良区関連施設については、これらに対応する地区も含め、揚水期に向けて支障がないよう補修しているところである。また、農地に直

接関係しない法定外道路、及び水路の災害復旧については、随時応急復旧を行っている。規模の大きいものについては、国の補助による災害復旧工事や単独事業による災害復旧工事を、現在発注している状況のため、しばらく時間がかかる。なお、土砂の搬出、除去については、土地の所有者もしくは耕作者に行ってもらう。



昨年10月に発生した台風19号による被害は甚大

予算審査 特別委員会

予算審査特別委員会を設置し、
令和2年度各種会計の当初予算を審査しました。
主な質疑と答弁をお知らせします。



予算審査特別委員会 杉浦謙一 委員長

一般会計

総務課

後藤 洋一 委員

職員研修の充実は

問 職員一人一人の長所を引き出していくような研修をすべき。

答 現在行っている事務的な研修だけではなく、目に見えるような成果を上げることが出来る研修を検討していきたい。

まちづくり推進課

鈴木 英雅 委員

10行政区に

自治会の設立を

問 39行政区中10行政区に自治会が設立されていない。全行政区に早急に自治会を結成させるべき。

答 自治会組織の強化及び地域づくりリーダーの育成を含め、自治会結成の推進を行う。

企画財政課

伊藤 雅一 委員

町債の返還は

問 町債の返還は予定どおりにできるのか。

答 借入金との調整をしながら、返還を進めていきたい。

福祉課

稲葉 定 委員

福祉ニーズの

把握方法は

問 福祉ニーズの把握方法は。それを支援にどうつなぐのか。

答 相談支援包括化推進会議を定期的に開催してニーズを的確に捉え、他機関と連携して支援につなげていく。さまざまな課題を持つ町民を孤立させないよう成果を出す。

答

特殊な事情はない。遊具の撤去、外トイレの撤去なども含まれている。

町民生活課

大友 啓一 委員

涌谷斎場の

延命化への考えは

問 現在の涌谷斎場は耐用年数があと数年で、延命化を行うことで今後も利用できる。

答 広域外の近隣市町からの利用者もいる。斎場が遠くなると時間と経費がかかるので、延命化も考えるべきではないか。

福祉課(子育て支援室)

涌澤 義和 委員

八雲児童館の

解体工事に係る

金額算定の根拠は

問 1126万4千円と高額であるが、解体工事に何か特殊な事情があるのか。金額算定の根拠は。

答 管理者会議でも斎場を2カ所と決めて、あまり費用をかけるべきではないと伝えている。涌谷斎場はどこまで延命化を図れるのかということを会議の中で発言している。町民の立場に立って、一層強く主張していく。

予算審査

農林振興課

佐々木 みさ子 委員

ワンフロア化は
なくなるのか

問 営農センターのワンフロア化はなくなるのか。担当の職員がいないと利便性が低下するのではないか。

答 農林振興課の一つに引き揚げる。役場から1名在席させ、繁忙期には数名在席させる。

鈴木 英雅 委員

農地利用最適化推進
委員制度延長の考えは

問 「農地利用最適化推進委員制度」が1期3年目を7月に迎える。町としての評価と、今後制度延長の考えはあるのか。

答 遊休農地の解消などの取り組みを積極的に行っている。今後3年間

の延長を考えている。

教育総務課

稲葉 定 委員

町の奨学金制度の今後は

問 国の奨学金制度から、わが町の財政状況や制度の廃止にも理解はするが、若者の定住につなげる意味で新設した自治体もあるが、制度をなくさない方法はないのか。

答 奨学金制度は条件付きで、大学を卒業した際に償還しなくてもよいなどの制度がある。他市町村の動向を見ながら、今後検討していきたい。

竹中 弘光 委員

イングリッシュ
キャンプの今後は

問 イングリッシュキャンプの成果及び継続をしない理由は。

答 これまで2年間事業を実施してきたが、財政的な理由から中止に至った。今後、子どもたちが英語に触れ合う機会は、別の方法で検討していく。

予算
審査



令和元年度 イングリッシュキャンプの様子

佐々木敏雄 委員

教育施設の長寿命化 計画策定後の活用は

問 教育施設の長寿命化計画で、効率的な維持管理の検討とはどのようなことを検討しているのか。将来のために、小学校、幼稚園の統廃合や建設の場

所など、今後の教育施設や教育の在り方などの検討が必要な時期ではないのか。

答 涌谷第一小学校の大規模改修と施設の長寿命化を考えている。児童数の減少を含め、小学校や幼稚園の統合など将来のことを検討する。

生涯学習課

竹中弘光 委員

今後の

町民運動会実施は

問

運動会が中止になっているが、十分な協議はなされたのか。また、今後はどうする計画か。

答

涌谷町体育協会主催の事業である。体育協会の役員と協議を重ねていく。



一般会計予算

賛成

稲葉 定 委員

放射性物質を含む稲わらなどの本焼却に関する経費が計上されている令和2年度当初予算案には、本来なら賛成はできない。

しかし、財政非常事態宣言が発令されてから本格的な取り組みがなされようとしている今、また新型コロナウイルス感染症への対応もあり、否決するのは思いとどまった。

一般質問で取り上げた「ゼロリスク」である稲わらの隔離保管への軌道修正を期待し賛成討論とする。



反対

久 勉 委員

財政再建計画が策定されたが、公有財産の管理をきちんとしていない。パークゴルフ場・テニスコート・サッカー場を公の施設として、条例で定めるべきだと指摘したがいまだ条例の提案がない。

監査委員からも指摘があるが、地域振興公社への対応も、社団法人としての定款で定められているにもかかわらず、ほとんど実行されていない項目がある。社会福祉協議会への補助金の大幅な削減は、在宅ケアの推進に逆行し、現場の職員のモチベーションを下げるようなことにもつながる。

日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への取り組みの具体案がない。

都市計画審議会の開催は必要である。震災後の街中の今後の在り方について

は、町がビジョンを示した上で、住民に問うべきである。

イングリッシュキャンプ及び川崎サマーキャンプの中止はいかがなものか。

町民目線で捉えた町の方性を示すべきであり、反対討論とする。

予算審査

3月会議採決状況 ○…賛成 ×…反対 議長は採決に加わらない												
件名 令和2年度一般会計予算												
後藤洋一	大友啓一	大泉 治	鈴木英雅	杉浦謙一	久 勉	伊藤雅一	稲葉 定	佐々木みさ子	佐々木敏雄	竹中弘光	涌谷義和	黒澤 朗
議長	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

特別会計

水道事業会計

久 勉 委員

各家庭の水道料金を下げるべきでは

問

宮城県からの受水費が800万円下がるのであれば、各家庭への水道料金も下げるべきだ。その理由として、損益計算書で1100万円の黒字が計上されている。800万円消費者へ還元しても300万円の黒字であるが。

答

今後は、料金改定に伴う変動を注視しながら涌谷町水道事業経営戦略・中期経営計画の見直しを検討していきたいと思う。



下水道事業会計

賛成 討論

佐々木敏雄 委員

台風19号で下町、城山行政区は甚大な浸水被害にあった。排水の被害要因となった橋の構造を確認し、事業の早期改修の判断をして、当初予算に計上したことに賛成する。改修の継続を望み、賛成討論とする。

国民健康保険

病院事業会計

佐々木 敏雄 委員

今年度の

一時借入金返済は

問

一時借入金は、昨年度は出納閉鎖期間内で返済しているが、今年度も同様か。公営企業法では、年度内償還となっているが、違法性はないのか。

答

法的には問題ないと考えているが、なお確認はする。

黒澤 朗 委員

官舎の処分は

問

長期間使用されていない桑木荒にある町立病院の院長官舎を処分する考えは。センター長が替わり財政再建に取り組み中、官舎を処分することによって、町立病院の変化の兆しを町民に対して示せるのでは。

答

今後、医師を確保するためのツールとして活用していきたい。平成22年に改修した際の起債の償還があることから、今後の推移を見ながら検討する。



反対 討論

佐々木敏雄 委員

財政非常事態宣言の最大の要因が病院事業会計といわれ、また、平成30年度の決算やその分析の反省なども

感じられない予算編成に思われる。医師確保や内部改革を進め改善を図ることの成果は期待するが、緊迫感、本気度が感じられない本予算には賛成できかね、反対の討論とする。

3月会議採決状況

	後藤 洋一	大友 啓一	大泉 治	鈴木 英雅	杉浦 謙一	久 勉	伊藤 雅一	稲葉 定	佐々木 みさ子	佐々木 敏雄	竹中 弘光	涌澤 義和	黒澤 朗
件名(賛成:○ 反対:×) 議長は採決に加わらない													
水道事業会計当初予算	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計当初予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険病院事業会計当初予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

令和2年度予算 一括討論

賛成

鈴木英雅 委員

財政再建計画を昨年9月に策定した矢先に、台風19号の襲来で甚大な被害に遭い、復旧対応などでさらに厳しい財政状況を強いられる。一般会計では各種団体の補助金の減額や内部管理経費の削減など、苦渋の予算編成である。深刻な財源不足に直面しながらも、財政の健全運用を基本理念とし、町民の福祉の向上に配慮されたものと理解する。

町民医療福祉センター基本方針の中で、病院では診療料の不採算部門の見直しを始め、整形外科医の常勤化、内科医2名の増員、スタッフから具体的な改善値なども示されるなど、今までにない改善策である。住民に信頼され、安全・安心を提供できる病院に変わるものと確信する。

反対

杉浦謙一 委員

しかし、一般会計部門の一部で町民の要望にそぐわないものもある。町民の思いを大切にしたい町政運営を望み、賛成討論とする。

予算には、これまで私が前町長時代から反対してきた農林系廃棄物や放射能を帯びた稲わらの本焼却予算が、1533万3千円計上されている。この事業は、東日本大震災の福島原発事故による8千ベクレル以下の汚染稲わらが大崎地域広域行政事務組合のクリーンセンターで焼却しようとするものである。震災前は100ベクレル以下規制であったものが、震災後80倍の8千ベクレル以下となった。大崎市は、土壌の調査を51カ所行った。過半数の地点でセシウムの値が増加し、クリーンセンターの煙突から漏れていることがわかる。若者たちの健康にも心配が広がっている。政治信条上、反対を表明し討論とする。

皆さんの請願・陳情

令和2年陳情第1号

学校給食の公費負担（無償化や一部負担）と給食の改善を求める要請書

陳情者

国民の食糧・農業、健康を守る宮城県連絡会

代表世話人 鈴木 新

審査の結果

配布となりました。

令和2年陳情第2号

2021年度介護保険法改正に向け介護保険制度の抜本改革を求める国への意見書提出を求める陳情書

陳情者

NPO法人
介護・福祉サービス非営利団体ネットワーク
サービスみやぎ理事長
内館 昭子他6名

審査の結果

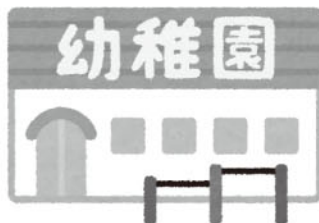
委員会付託となりました。

3月第2回会議

令和2年定例会3月第2回会議が3月24日に開催され、令和元年度一般会計補正予算1件と、令和2年度補正予算1件が上程されました。

内容は、新型コロナウイルス感染症対策のための予算の増額で、幼稚園や放課後児童クラブの施設などに、保健衛生用品（消毒液、加湿空気清浄機など）を備えるほか、ひとり親家庭等応援団利用助成金に充てられます。

審議の結果、原案どおり可決しました。



議案審査

